

7F 入院病棟

6F 入院病棟

5F 入院病棟

4F 入院病棟

3F 入院病棟

地域医療連携室
医療安全管理室

2F 作業療法室
ソーシャルワーカー室
売店

総合受付 会計
外来 薬局 X線・CT室

1F 心電図室 脳波測定室
心理室 デイケア
医療相談窓口

外出・外泊について

■外出・外泊は主治医の許可を受けて下さい。帰院予定時刻を超える場合には、病棟までご連絡下さい。

面会について

■面会時間は原則午後1時から4時までです。
■ご事情により時間外の面会を希望される方はお申出下さい。

通信について

■手紙・ハガキの発受信は自由です。
■病棟には公衆電話が設置されており、患者様は自由に使用していただけます。
携帯電話のご利用はご遠慮下さい。

交通のご案内



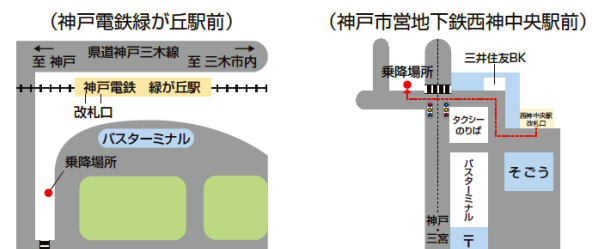
神戸市営地下鉄西神中央駅から
神姫バス緑が丘駅行き
富士見が丘5丁目下車、徒歩5分

神戸電鉄緑が丘駅から
タクシー 5分
徒歩 25分
神姫バス西神中央駅行きまたは、
神姫ゾーンバス栄営業所行き
富士見が丘5丁目下車、徒歩5分

お車
西神戸有料道路ひよどり料金所から約30分
第二神明道路玉津インターから約30分
山陽自動車道三木東インターから約10分
山陽自動車道神戸西インターから約15分

送迎バスのご案内

乗 降 場 所



神戸市営地下鉄「西神中央駅」
神戸電鉄「緑が丘駅」まで無料送迎バスを運行していますのでご利用下さい。
運行時刻は待合いロビーに掲示しています。(日曜・祝祭日は運休)

公益財団法人復光会
垂水病院

〒651-2202 神戸市西区押部谷町西盛566番地
TEL 078(994)1151 FAX 078(994)2941

入院のご案内



公益財団法人復光会
垂水病院

垂水病院は、昭和36年11月に、厚生省・兵庫県・神戸市の援助と協力を得て、全国に数少ない依存症治療を特色とする病院として神戸市の北西部に創設されました。

現在は、医師・看護師に加え、豊富で多彩なコメディカルスタッフが一体となったチーム医療を実践しており、依存症治療のみならず療養環境に配慮した精神科急性期治療にも力を注ぎ、心のバランスを保てなくなった方々に対する治療と援助を積極的におこなっています。

神戸市・兵庫県より下記の選定を受けています
アルコール依存症 専門医療機関、治療拠点機関
薬物依存症 専門医療機関、治療拠点機関

創業三原則

- 一、公益公共性と基とする
- 二、中毒性精神障害者の診療と特色とする
- 三、広く医界に貢献する施策を行なう

診療科目／精神科・心療内科

診 療 日 月曜日～土曜日
診 療 時 間 AM 9:00 ～ 11:30
PM 1:00 ～ 3:30
休 診 日 日曜日・祝祭日
年末年始 土曜日午後
(12月29日～1月3日)

入院に際して

準備していただくもの

■健康保険証、公費負担医療証（老人・重度障害・母子等）、限度額適用認定証

＊ 健康保険証等の更新・変更のあった時は、速やかに受付窓口へご提示下さい。

■印鑑（入院誓約書にご記入いただける連帯保証人の印鑑も必要となります）。

■入院保証金、室料保証金（差額ベッドを利用される方）

■お小遣い金（患者様の療養上必要な日用品類等の購入費用）

■洗面用具、充電式カミソリ、スリッパ、パジャマ、下着、着替え類（3組程度）をご用意下さい。

なお、ご希望により下着リース（有料）をご利用いただくことも可能です。

■貴重品、ライター等の危険物の病棟への持ち込みはご遠慮下さい。その他の所持品についても療養上最小限にお願いします。

入院費用・退院

■入院費は、月末に締切りご指定先に請求書を郵送しますので、期日までにお支払願います。

また、お預かりして管理させていただくお小遣い金は、患者様により使用される金額が異なりますので、不足しないようお預け下さい。

■退院の際、入院費・お小遣い金のご精算を退院日当日にお願いします。その際、入院保証金の領収証及び印鑑をご持参下さい。

支払の概算金額は退院前日にお知らせできますので、希望される方はお申出下さい。

特別療養環境室（差額ベッド）について

■新病棟には、特別療養環境室として個室、二人室を用意しております。病室のタイプで利用料が異なります。ご利用につきましてはスタッフからご説明致しますが、ご希望の方はお申し出下さい。



特別室



一床室

洗濯について

■私物の洗濯は病棟内の洗濯機（有料）をご利用下さい。院内に干し場はございませんので、乾燥機（有料）のご利用をお願いします。

ご自身で洗濯が出来ない場合はご相談下さい。

医療相談について

■精神保健福祉士が、疾病予防、社会制度の利用方法、疾患に関するさまざまな問題について、患者様やご家族のご相談をお受けしております。ご遠慮なくお申出下さい。（1F医療相談窓口）

専門療法について

■レクリエーション・スポーツ・各種創作・社会体験活動などを通じて、作業療法士が他の専門職と連携し回復を支援します。

また、アルコール依存症の治療プログラムとしてはARP（アルコールリハビリテーションプログラム）があり、医師・ソーシャルワーカー・看護スタッフが連携し、健康回復を目指します。

主なプログラム

■病棟別レクリエーション

■創作活動

■スポーツレクリエーション

■社会体験グループ活動

■音楽活動（鑑賞、合唱等）

■ARP（ミーティング、勉強会等） 他



創作活動の様子

デイケア

■退院後の患者様がグループ活動やレクリエーションを通し、社会復帰や病状の安定を目指す場所です。病気や障がいとうまく付き合う方法や生活のしづらさを軽減できるようひとりひとりの目標を実現できるようサポートします。

訪問看護

■退院後、必要に応じ専門スタッフが自宅を訪問し、患者様・ご家族を支援します。

依存症治療について

依存症はアルコールや薬物を自分の力でコントロールすることが困難な疾患です。

療養中は身体の治療と疾患に対する正しい知識の習得を目指します。

また、退院に向けて、健康的な生活を送ることができるよう援助します。

依存症治療プログラム

依存症からの回復を目指し、医師や専門スタッフによる講義形式のプログラムをはじめ、各種の教育的な内容のミーティングや視聴覚設備を使用したプログラムなどを実施しています。また、断酒会・AA（アルコールクス・アノニマス）のメンバーを院内に招き、自助グループとの連携も大切にしています。

医療安全管理

医療安全管理室を設置し医療安全対策を実施しています。

患者様やご家族のご相談をお受けしております。

感染防止対策

院内感染防止対策委員会を設置し、感染防止対策を実施しています。